

# 親鸞教義とその展開

(上・下)

ないとう ともやす

内藤知康著 ▼ A5判・上製カバー貼函入・計660頁 定価 九、九〇〇円

〔分売不可〕

2023年7月刊行



『教行信証』や、親鸞教義と親鸞以降の教学の問題を究明した論文ほか。聖教を根拠に論理的論考を展開する真宗学の第一人者の論集。

## 《目次——上巻》

刊行に当たって(龍谷大学教授 井上見淳)

### 第一部 『教行信証』に関する考察

- 第一章 親鸞における「本願」の用語例  
——特に『教行信証』において
- 第二章 「行文類」称名破満積の解釈について
- 第三章 「行文類」逆謗除取釈についての一考察
- 第四章 『教行信証』「証文類」引用文の所願  
——願文と成就文
- 第五章 「真仏土文類」における『論註』性功德積引意に  
対する一考察
- 第六章 「方便化身土文類」の意義
- 第七章 「化身土文類」の隠頭釈についての諸説

### 第二部 親鸞教義の諸問題

- 第一章 信心の智慧に対する一考察
- 第二章 親鸞における実践の論理構造
- 第三章 親鸞の証果論
- 第四章 親鸞の阿弥陀仏観
- 第五章 『歎異抄』第三章についての一考察
- 第六章 親鸞の神祇観についての一考察
- 第七章 親鸞における不可思議の意義  
初出一覧

## 《目次——下巻》

### 第三部 浄土教の基本姿勢

- 第一章 他方世界としての浄土
- 第二章 真宗教学の論理構造——衆生の論理と仏の論理
- 第三章 真宗教学の論理構造——江戸宗学の基本姿勢

### 第四章 真宗教学における実相の取り扱い

- 第一部 真宗教学の諸問題
- 第一章 蓮如上人の神祇に関する教化
- 第二章 真宗教学における称名報恩の意義
- 第三章 真宗教学における五逆・謗法・闡提の位置づけ
- 第四章 一念覚知説の検討
- 第五章 江戸宗学の宗体論
- 第六章 善護師の行信論
- 第五部 真宗教学と現代
- 第一章 真宗教学と和平
- 第二章 実践真宗学研究科設立の意義
- 第三章 「一つところへまゐりあふ」と日本の心情  
——芥川龍之介の『おぎん』を題材として  
初出一覧

### ◆著者略歴

内藤知康(ないとう ともやす)

一九四五年、大阪府に生まれる。龍谷大学大学院文学研究科修士、宗学院卒業。二〇二二年、往生。  
龍谷大学名誉教授、元本願寺派勸学寮員、福井県覺成寺元住職(福井教区若狭組)。文学博士。  
主な著書に、「基礎から学ぶ浄土真宗1 阿弥陀仏と浄土」、「基礎から学ぶ浄土真宗2 念仏往生の教え」、「基礎から学ぶ浄土真宗3 信心と利益」、「親鸞の往生思想」、「親鸞教義とその展開」上・下、「聖典読解シリーズ5 正信偈」、「聖典読解シリーズ7 歎異抄」、「増補版 やわらかな眼」、「親鸞聖人のことば」(共著)、「御文章を聞く」、「安心論題を学ぶ」、「安樂集講読」、「顕浄土真実行文類講読」、「顕浄土真実信文類講読」ほか、論文多数。

|                              |                 |
|------------------------------|-----------------|
| 注文書<br>(書店印)                 | 様冊<br>ご担当       |
| 法藏館<br>内藤知康著                 | 定価 九、九〇〇円<br>住所 |
| 親鸞教義とその展開<br>上・下【分売不可】       | お電話<br>お名前      |
| ISBN:978-4-8318-7938-7 C0015 |                 |

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

真宗